社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和07年01月21日

計画の名称	肥前鹿島駅周辺地区												
計画の期間	令和０７年度　～　令和１１年度　(5年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	鹿島市												
計画の目標	スローツーリズムの拠点となるよう、駅周辺地区のまちの価値を体験できる機会を増やすことで、来訪者の回遊性を生み出し、地域の活性化を図る ・市民と来訪者が交流できる拠点を整備し、賑わい溢れるまち ・居心地の良い空間を創出することで、歩いて楽しめ滞在したくなるまちの実現 ・日常を通じて多様なアクティビティが生まれる空間の創出												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	556	A	556	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6	R9末	R11末
1	中心市街地を歩いて楽しいと感じる市民の割合を19.7%（R6）から60%（R11）に増加			
	アンケート調査で中心市街地を歩いて楽しいと感じる市民の割合	19%	%	60%
2	滞在快適性向上区域内の公共空間（広場、公園、道路）を活用したイベント数を3回／年（R6）から10回／年（R11）に増加			
	滞在快適性向上区域内の公共空間（広場、公園、道路）を活用したイベント等の実績	3回／年	回／年	10回／年
3	肥前鹿島駅周辺における平日の歩行者通行量を867人／日（R6）から950人／日（R11）に増加			
	肥前鹿島駅周辺2箇所の調査地点での、平日12時間の歩行者通行量	867人／日	人／日	950人／日
4	肥前鹿島駅周辺における休日の歩行者通行量を663人／日（R6）から730人／日（R11）に増加			
	肥前鹿島駅周辺2箇所の調査地点での、休日12時間の歩行者通行量	663人／日	人／日	730人／日

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000626031

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R07	R08	R09	R10	R11	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	鹿島市	直接	鹿島市	－	－	肥前鹿島駅周辺地区都市再生整備計画事業	３４ｈａ	鹿島市	■	■	■	■	■	556		策定済
											小計						556		
											合計						556		

案件番号： 0000626031

事前評価チェックシート

計画の名称： 肥前鹿島駅周辺地区

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等　１）まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I.　目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等　２）上位計画等と整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　１）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　２）まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　３）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　４）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　５）地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　１）まちづくりに向けた機運がある。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　２）住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　３）継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III.　計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

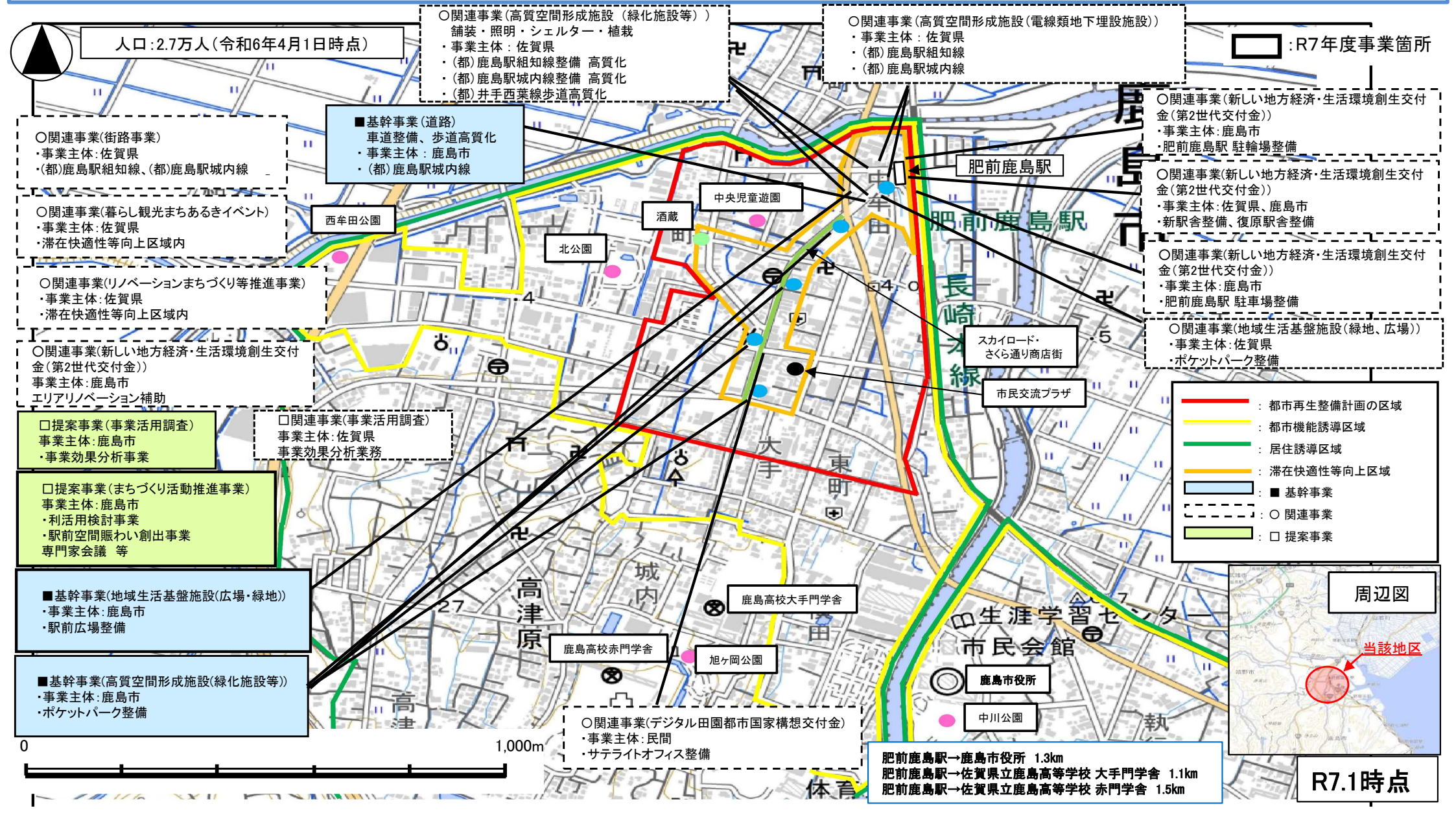
案件番号：0000626031

事　　前　　評　　価	チェック欄
III．計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　２）交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III．計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　３）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

肥前鹿島駅周辺地区まちなかウォーカブル推進事業（鹿島市）

R7年度ver.

◆事業概要：スローツーリズムの拠点となるよう、駅周辺地区のまちの価値を体験できる機会を増やすことで、来訪者の回遊性を生み出し、地域の活性化を図る。
◆事業主体：鹿島市　◆面積：34．0ha　◆滞在快適性等向上区域：9．8ha　◆交付期間：令和7年度～令和11年度　◆立地適正化計画公表時期：令和2年4月
◆全体事業費：556百万円　◆交付対象事業費：556百万円（国費：278百万円）　◆国費率：50%



R7.1時点

肥前鹿島駅周辺地区（佐賀県鹿島市）

（まちなかウォーカブル推進事業）

１．　地　区　概　要

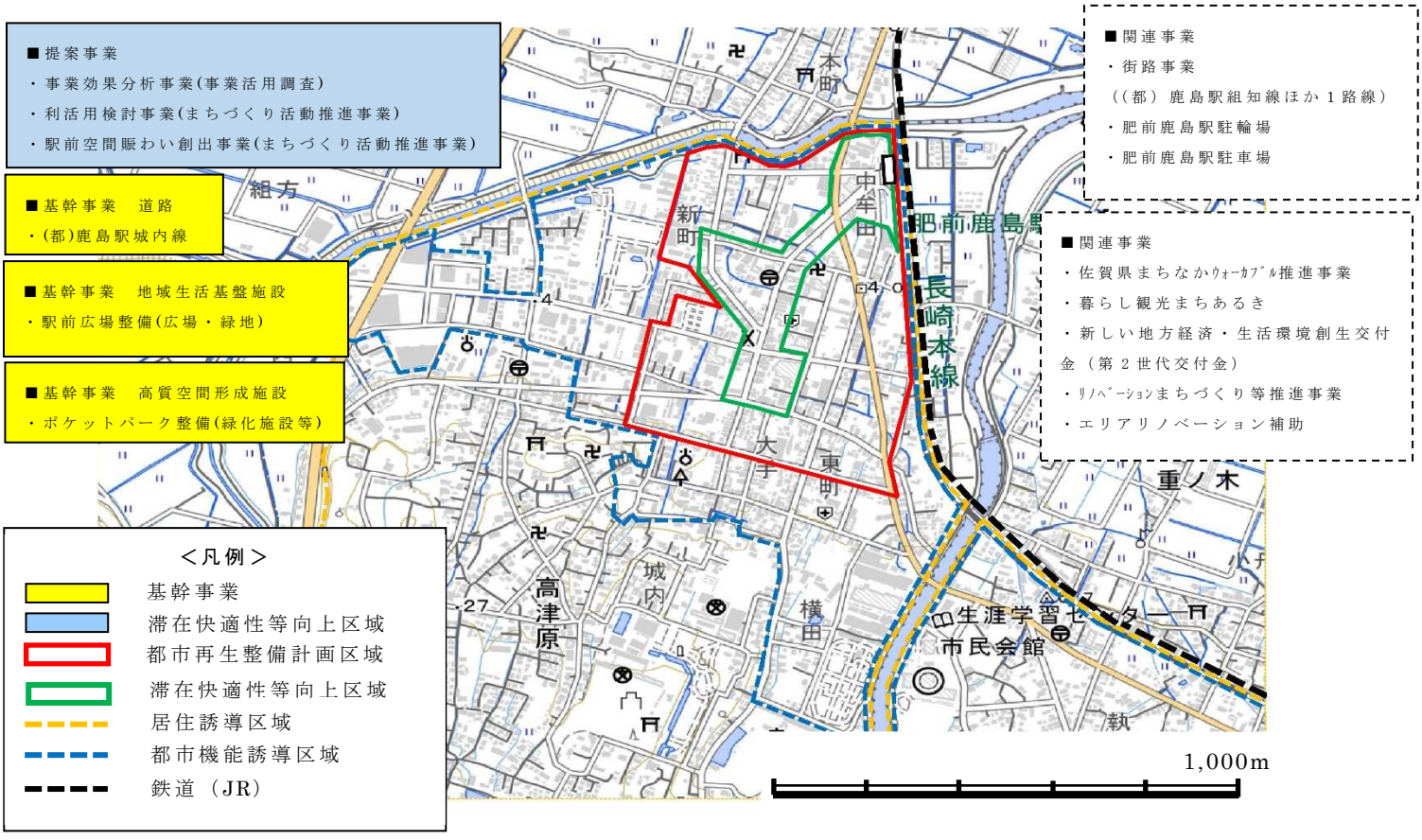
本地区は、肥前鹿島駅及びバスセンターが立地している本市の公共交通の要所となる地区である。令和４年９月23日西九州新幹線開業後、特急列車の減便となっており、利便性低下、活力低下を招いている。この打開策として、鹿島及び太良地域をゆっくり旅するスローツーリズムエリアとし、肥前鹿島駅周辺をその玄関口と位置付ける。

今回の整備において、スローツーリズムの拠点となるよう、駅周辺地区のまちの良さをゆっくり体験し歩いて楽しめることができる機会を増やすことで、来訪者の回遊性を生み出し、地域の活性化を図る。

令和７年度は、地域生活基盤施設事業の広場整備の用地測量を行う。

２．　計　画　内　容

所　　在　　地　：　佐賀県鹿島市
事　業　主　体　：　鹿島市
面　　積　：　9.8ha（ウォーカブル区域）
交　付　期　間　：　令和７年度　～　令和11年度
事　　業　　費　：　全体　556百万円
（国費：278百万円）
事　業　内　容　：　地域生活基盤施設、高質空間形成施設、道路



社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

肥前鹿島駅周辺地区都市再生整備計画

（肥前鹿島駅周辺地区まちなかウォーカブル推進事業）

令 和 ７ 年 ３ 月

佐 賀 県 鹿 島 市

別紙5－1

社会資本総合整備計画

計画の名称	肥前鹿島駅周辺地区			重点配分対象の該当	○
計画の期間	令和7年度　～　令和11年度　（5年間）	交付対象	鹿島市		

計画の目標

スローツーリズムの拠点となるよう、駅周辺地区のまちの価値を体験できる機会を増やすことで、来訪者の回遊性を生み出し、地域の活性化を図る
・市民と来訪者が交流できる拠点を整備し、賑わい溢れるまち
・居心地の良い空間を創出することで、歩いて楽しめ滞在したくなるまちの実現
・日常を通じて多様なアクティビティが生まれる空間の創出

計画の成果目標（定量的指標）

・肥前鹿島駅周辺と各拠点施設による賑わい創出効果を図る指標として、歩いて楽しいと感じる割合が19.7%（R6）から60%（R11）に増加
・肥前鹿島駅周辺の交流・賑わいづくりに寄与する使いやすい公共空間の新設効果を図る指標として、滞在快適性向上区域内の公共空間（広場、公園、道路）での年間イベント開催数　3回/年（R6）から10回/年（R11）に増加
・肥前鹿島駅周辺、スカイロード・さくら通り商店街の賑わい創出効果を図る指標として、平日歩行者通行量を867人/日（R6）から950人/日（R11）に増加
・肥前鹿島駅周辺、スカイロード・さくら通り商店街の賑わい創出効果を図る指標として、休日歩行者通行量を663人/日（R6）から730人/日（R11）に増加

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（R6）	中間目標値（R9末）	最終目標値（R11末）	備考
賑わい空間の創出等により歩いて楽しいと感じる割合	19.7%		60%	
滞在快適性向上区域内でのイベント数	3回/年		10回/年	
平日歩行者通行量	867人/日		950人/日	
休日歩行者通行量	663人/日		730人/日	

全体事業費	合計（A＋B＋C＋D）	556百万円	A	556百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C＋D）	0.0%

交付対象事業

A　基幹事業　　佐賀県鹿島市

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） R7	R8	R9	R10	R11	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
A10-001	都市再生	一般	鹿島市	直接	鹿島市	肥前鹿島駅周辺地区都市再生整備計画事業	３４ｈａ	鹿島市	━	━	━	━	━	556.0		策定済	
								合計						556.0			

B　関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	施期間（年度） R6	R7	R8	R9	R10	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
								合計						0			

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） R6	R7	R8	R9	R10	全体事業費（百万円）	備考
								合計						0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D　社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	施期間（年度） R6	R7	R8	R9	R10	全体事業費（百万円）	備考
								合計						0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

交付金の執行状況

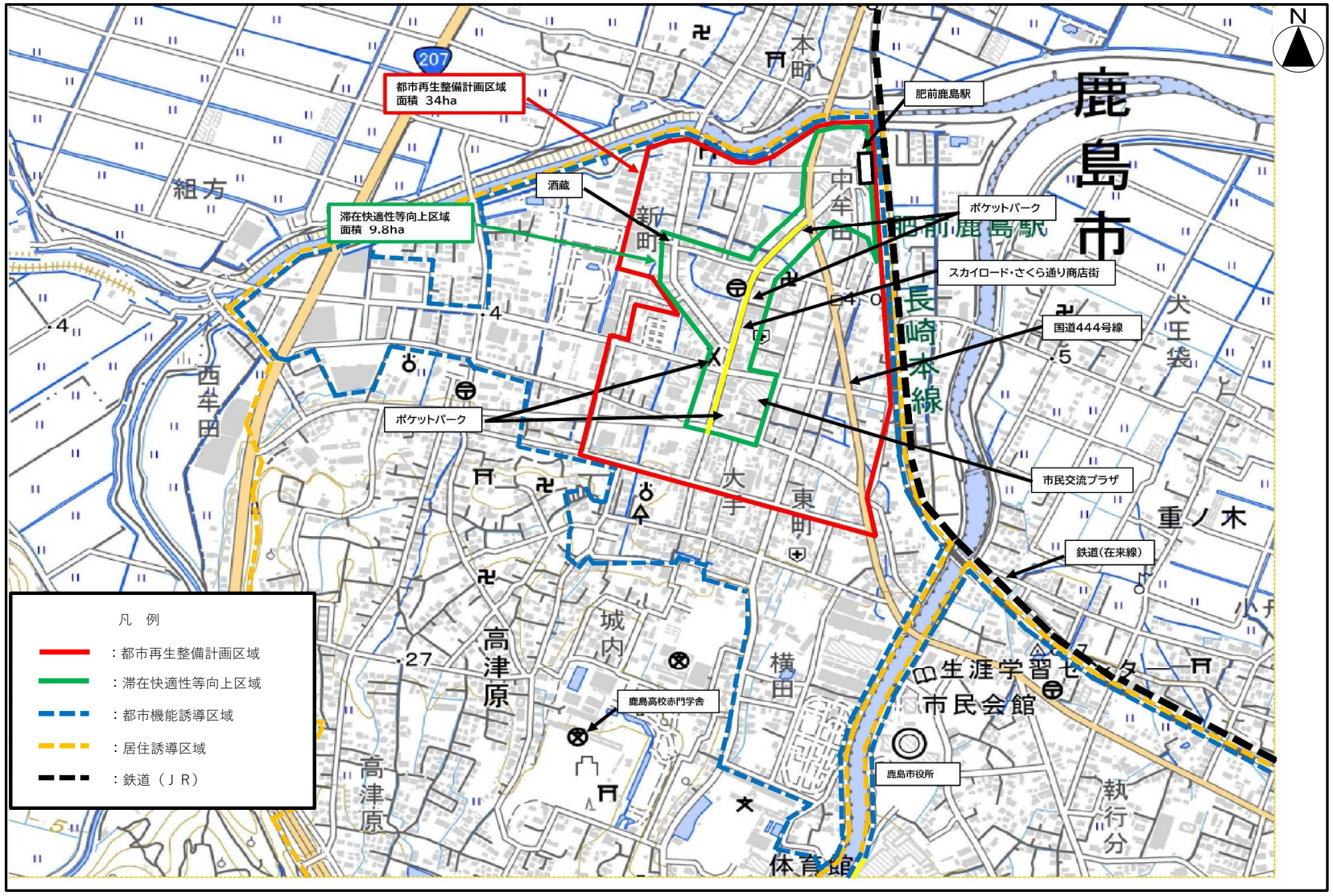
（単位：百万円）

	R7	R8	R9	R10	R11
配分額 （a）					
計画別流用 増△減額 （b）					
交付額 （c=a+b）					
前年度からの繰越額 （d）					
支払済額 （e）					
翌年度繰越額 （f）					
うち未契約繰越額 （g）					
不用額 （h = c+d−e−f）					
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

※　令和7年度以降の各年度の決算額を記載。
※　令和7年度は、決算額が確定でき次第記載。

（参考図面）

計画の名称	1　肥前鹿島駅周辺地区		
計画の期間	令和7年度　～　令和11年度　（5年間）	交付対象	鹿島市



都市再生整備計画

肥前鹿島駅周辺地区（ひぜんかしまえきしゅうへんちく）

佐賀県（さが） 鹿島市（かしまし）

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	□
都市再生整備計画事業（社会資本整備総合交付金）	□
都市再生整備計画事業（防災・安全交付金）	□
まちなかウォーカブル推進事業	■

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	佐賀県	市町村名	鹿島市（かしまし）	地区名	肥前鹿島駅周辺地区（ひぜんかしまえきしゅうへんち く）	面積	34 ha

計画期間	令和 7 年度 ～ 令和 11 年度	交付期間	令和 7 年度 ～ 令和 11 年度

目標

大目標：スローツーリズムの拠点となるよう、駅周辺地区のまちの価値を体験できる機会を増やすことで、来訪者の回遊性を生み出し、地域の活性化を図る
目標1：市民と来訪者が交流できる拠点を整備し、賑わい溢れるまち
目標2：居心地の良い空間を創出することで、歩いて楽しめ滞在したくなるまちの実現
目標3：日常を通じて多様なアクティビティが生まれる空間の創出

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

●鹿島市は佐賀県南西部に位置し、江戸時代は鍋島氏の城下町として栄え、明治以降は県南西部地域における政治、経済、文化の中心地として発展してきた。また、東に有明海、西に多良岳山系に囲まれる豊かな自然と、日本三大稲荷の一つである祐徳稲荷神社をはじめとする歴史的な資源に恵まれた地域であり、これまで地域資源を活用して観光を軸に地域の活性化を目指してきた。
●昭和30年3月に市制を施行。昭和40年代には、中心市街地に市役所・警察署・県の現地機関等の行政機関や金融機関・娯楽施設などの都市機能が集約していたが、昭和50年代以降は、行政機関の郊外移転、国道207バイパスの開通による沿道サービス型商業施設の立地等の影響で中心市街地の空洞化が進行し、地域コミュニティの拠点としての機能が低下し、まちの活力が低下してきた。
●令和2年4月に策定された立地適正化計画に基づき、肥前鹿島駅周辺地区や中心市街地を含む都市機能誘導区域において、各種都市機能の誘導を進めることにより、生活サービス施設などの都市機能の維持・充実を図り、持続可能な都市構造の実現を目指す。

課題

・駅周辺地区の賑わいが衰退する中、西九州新幹線開通に合わせた長崎本線の並行在来線化で特急電車本数の激減に伴って、鉄道利用者数も減少傾向にあり、衰退加速、鉄道駅の求心力低下の懸念がある。
・事業者、住民共に高齢化している等に起因して、近接する中心市街地においても、空き店舗が増加しており、かつての商業的な賑わいが失われつつある。
・中心市街地における公共空間において、有効活用ができていない。
・肥前鹿島駅から中心市街地への動線が、駅前の変則交差点の影響などで分かりづらく、中心市街地との連携が取れていない。

将来ビジョン（中長期）

①「鹿島市第七次総合計画」（令和5年11月改訂）
・目指す都市像として「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」を位置づけ。
・「しごと・ものづくり」「ひとづくり」「まちづくり」の好循環を目指す」、「みんなですすめるまちづくり」、「災害に強いまちづくり」、「持続可能なまちづくり」の4つの基本的考え方を示す。
・都市基盤の施策として、肥前鹿島駅舎及び駅前周辺の整備などを掲げており、利便性の高い交通網を整備し持続可能な公共交通を維持することで住みやすいまちづくりを推進する。
②「鹿島都市計画区域マスタープラン」（令和4年3月）
・肥前鹿島駅及び鹿島バスセンター発着の公共交通を維持するとともに、中心市街地の活性化を図ることにより、コンパクトで高い生活利便性を提供できるまちを目指す。
・肥前鹿島駅周辺の既存商店街を中心とし、商業・業務機能の集積強化を図り、中心市街地の活性化を図る。
③「都市計画マスタープラン」（平成28年3月）
・本市の将来の都市構造として、肥前鹿島駅前から中心商店街にかけて広がっている範囲を、商業・業務系施設の立地による生活利便性強化を図ることとしている。また、市の玄関口として交流・賑わい機能の強化を図ることも位置づけている。
・公共交通機関整備の方針として、他市への通勤・通学や、市内への観光客に対し、駅や施設においてパークアンドライド（公共交通への乗り換え）用の駐車場・駐輪場の整備を図る。
④「立地適正化計画」（令和2年3月）
・本地区は、交通結節点・公共公益施設が集積しているため、観光・交流を中心とする拠点地域（中心拠点、地域拠点）として位置づけ、生活サービス施設などの都市機能の維持・充実を図り、風情ある歴史的町並みを活用し生活と観光が両立するまちづくりを目指す。

一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォーカブル推進事業の計画

滞在快適性等向上区域の考え方

肥前鹿島駅周辺地区全体の回遊性向上をねらい、公共施設や商業施設を繋ぎ、肥前鹿島駅、スカイロード・さくら通り商店街の沿線道路を中心に区域を設定。区域内において、道路・歩道の高質化や広場整備等の歩きたくなる公共空間の創出に繋げるとともに、行政による滞留空間の設置や、沿道の民間事業者による活動など官民一体となって居心地の良いまちなかを創出する。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩いて楽しいと感じる市民の割合	%	アンケート調査で中心市街地を歩いて楽しいと感じる市民の割合	賑わい空間の創出等により歩いて楽しいと感じる人の割合が増加する	19.7%	R6年度	60%	R11年度
滞在快適性等向上区域内でのイベント活用	%	滞在快適性向上区域内の公共空間（広場、公園、道路）を活用したイベント等の実績	使いやすい公共空間に改変することで、イベント等の利用が促進される。	3回／年	R6年度	10回／年	R11年度
歩行者通行量	人/日	肥前鹿島駅前周辺2箇所の調査地点での、平日、休日各12時間の歩行者通行量	賑わい空間の創出等により歩行者通行量が増加する	平日 867人/日 休日 663人/日	R6年度	平日 950人/日 休日 730人/日	R11年度

都市再生整備計画の整備方針等

様式（1）-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【市民と来訪者が交流できる拠点を整備し、賑わい溢れるまち】 ・待合の場として、快適な駅舎空間の強化・充実 ・市民と来訪者、双方の交流の場となる心地良く使いやすい駅前空間の創出 ・快適な散策等を支援する広場等の休憩所の機能向上	【基幹事業】（駅前広場整備：地域生活基盤施設／広場・緑地） 【基幹事業】（ポケットパーク整備：高質空間形成施設／緑化施設等 【関連事業】（肥前鹿島駅駐輪場整備／新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）） 【関連事業】（肥前鹿島駅駐車場整備／新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）） 【関連事業】（ポケットパーク整備：地域生活基盤施設／広場・緑地 【関連事業」（新駅舎整備、復原駅舎整備／新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））
【居心地の良い空間を創出することで、歩いて楽しめ滞在したくなるまちの実現】 ・交錯している公共交通と一般送迎車両の交通整序化 ・歩行者にやさしく、安全安心な道づくり ・車両通行（乗り入れ）を抑制し、道路と広場が一体となった歩行者専用空間を設け、イベント等で賑わいを創出	【基幹事業】（道路：(都)鹿島駅城内線） 【関連事業】（街路高質化：高質空間形成施設／緑化施設等） (都)鹿島駅組知線高質化、(都)鹿島駅城内線高質化、(都)井手西葉線歩道高質化 【関連事業】（街路無電柱化：高質空間形成施設／電線類地下埋設施設） (都)鹿島駅組知線無電柱化、(都)鹿島駅城内線無電柱化 【関連事業】（街路事業：鹿島駅組知線、鹿島駅城内線）
【日常を通じて多様なアクティビティが生まれる空間の創出】 ・まちなかの立ち寄り・滞在拠点（商店やまちやど）の活用と相互連携による回遊性の創出 ・鹿島市の特産品や活動等を総合的にPRする場所づくり ・新規出店しやすい空き店舗等の活用と支援環境の整備	【基幹事業】（事業活用調査／事業効果分析事業） 【基幹事業】（まちづくり活動推進事業／利活用検討事業） 【基幹事業】（まちづくり活動推進事業／駅前空間賑わい創出事業） 【関連事業】（エリアリノベーション補助／新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）） 【関連事業】（事業活用調査／事業効果分析事業） 【関連事業】（サテライトオフィス整備／デジタル田園都市国家構想交付金） 【関連事業】（かしま暮らし観光まちあるきイベント） 【関連事業】（空き店舗改修事業の運営者発掘事業）

その他

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項（まちなかウォーカブル推進事業）

様式（1）-④-4

交付対象事業費	556	交付限度額	278.0	国費率	0.5

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B／C
道路		（都）鹿島駅城内線	鹿島市	直	延長70m	R8	R9	R8	R9	107	107	107		107	―
公園															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	広場	肥前鹿島駅前広場整備事業	鹿島市	直	3200㎡	R7	R11	R7	R11	400	400	400		400	―
高質空間形成施設	緑化施設等	ポケットパーク整備	鹿島市	直	1000㎡ 4箇所	R8	R11	R8	R11	39	39	39		39	―
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
街なみ環境整備事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
滞在環境整備事業															
計画策定支援事業															
合計										546	546	546	0	546	…A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業														
事業活用調査	事業効果分析事業	駅周辺地区、中心市街地地区	鹿島市	直	一式	R11	R11	R11	R11	5.0	5.0	5.0		5.0
まちづくり活動推進事業	利活用検討、駅前空間賑わい創出偉業	駅周辺地区、中心市街地地区	鹿島市	直	一式	R7	R9	R7	R9	5.0	5.0	5.0		5.0
合計										10	10	10	0	10 …B
													合計(A+B)	556

（参考）都市構造再編集中支援関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○） 直轄	補助	地方単独	民間単独	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
合計											0

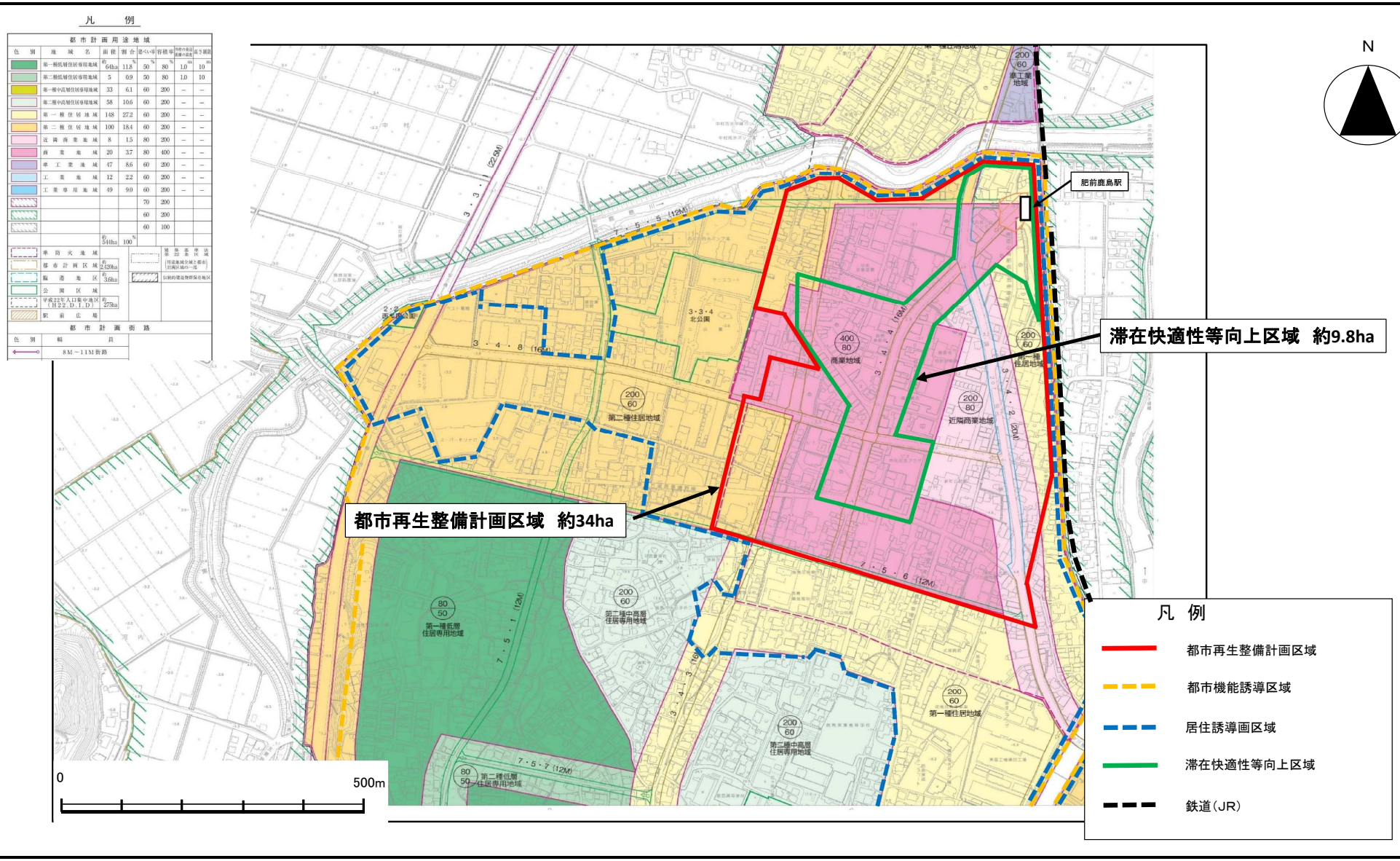
（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○） 直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
鹿島駅組知線ほか1路線整備事業（街路）	都市計画道路 鹿島駅組知線ほか1路線	佐賀県	国土交通省	延長200m		○			R7	R11	900.0
ポケットパーク整備（まちなかウォーカブル推進事業）	ポケットパーク	佐賀県	国土交通省	150㎡		○			R10	R10	10.0
鹿島駅組知線・鹿島駅城内線電線類地下埋設整備事業（まちなかウォーカブル推進事業）	（都）鹿島駅組知線、（都）鹿島駅城内線	佐賀県	国土交通省	200m		○			R7	R11	160
鹿島駅組知線・鹿島駅城内線・井手西葉線高質化整備事業（まちなかウォーカブル推進事業）	（都）鹿島駅組知線、（都）鹿島駅城内線 （都）井手西葉線	佐賀県	国土交通省	350m		○			R9	R11	175
事業効果分析事業（まちなかウォーカブル推進事業）	駅周辺地区	佐賀県	国土交通省	一式		○			R11	R11	5
肥前鹿島駅整備、復原駅舎整備（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））	駅周辺地区	佐賀県、鹿島市	内閣府	一式		○			R7	R10	2,353
サテライトオフィス整備（デジタル田園都市国家構想交付金）	中心市街地地区	民間	内閣府	一式		○			R6	R6	67.5
肥前鹿島駅駐輪場整備（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））	鹿島駅前駐輪場	鹿島市	内閣府	一式		○			R7	R10	99.0
肥前鹿島駅駐車場整備（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））	市営駐車場	鹿島市	内閣府	一式		○			R7	R9	79.0
エリアリノベーション補助（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））	中心市街地地区	民間	内閣府	一式		○			R7	R9	15.0
かしま暮らし観光まちあるきイベント	中心市街地地区	佐賀県		一式			○		R5	R11	0.5
リノベーションまちづくり等推進事業	中心市街地地区	佐賀県		一式			○		R6	R11	50
合計											3,914.0

ウォーカブル推進計画の区域

様式（1）-⑥

肥前鹿島駅周辺地区（佐賀県鹿島市）	面積	34（9.8） ha	区域	鹿島市 大字 高津原 中牟田区、新町区



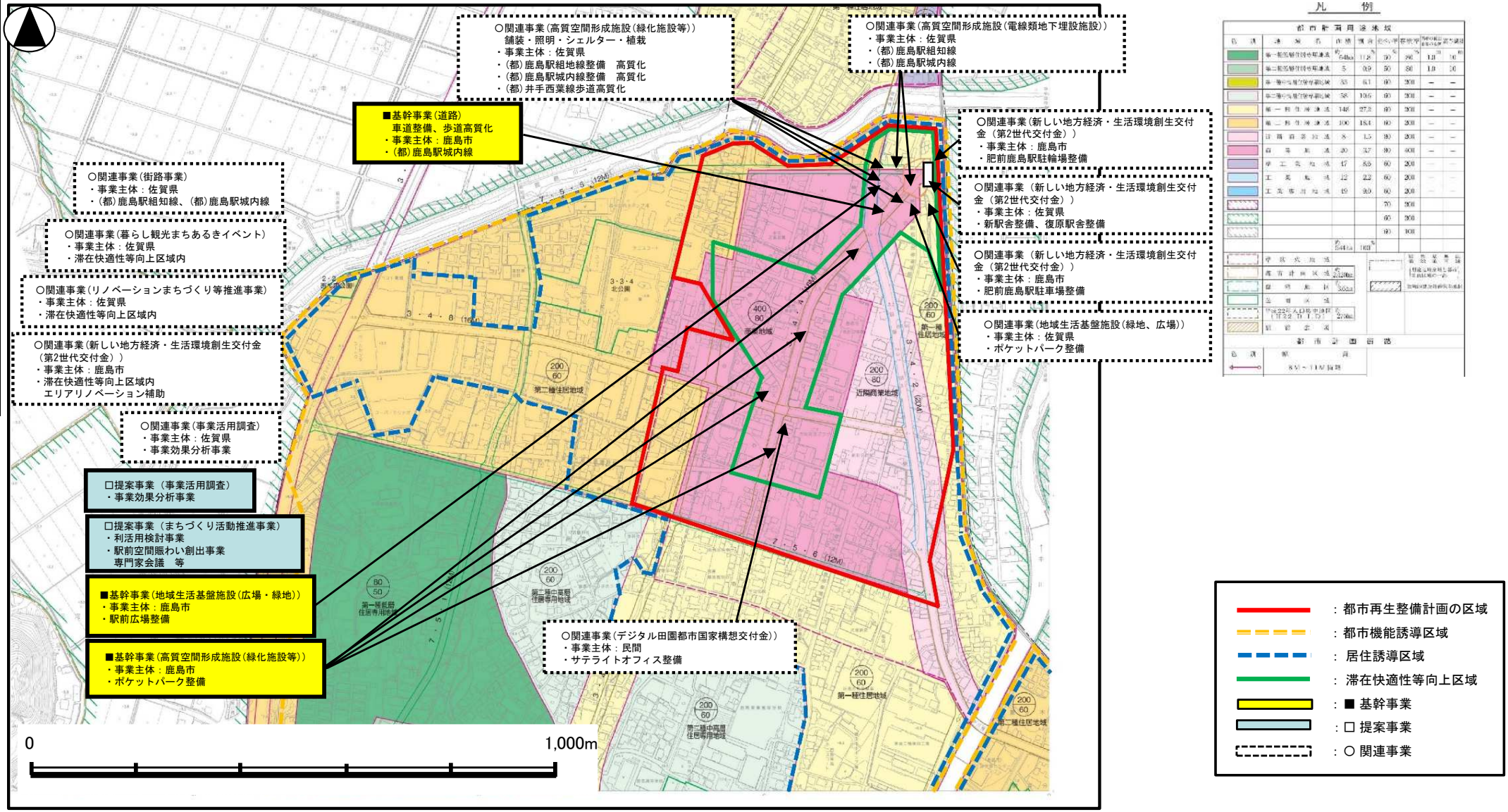
肥前鹿島駅周辺地区（佐賀県鹿島市） 整備方針概要図（まちなかウォーカブル推進事業）

目標

大目標：スローツーリズムの拠点となるよう、駅周辺地区のまちの価値を体験できる機会を増やすことで、来訪者の回遊性を生み出し、地域の活性化を図る
目標1：市民と来訪者が交流できる拠点を整備し、賑わい溢れるまち
目標2：居心地の良い空間を創出することで、歩いて楽しめ滞在したくなるまちの実現
目標3：日常を通じて多様なアクティビティが生まれる空間の創出

代表的な指標

歩いて楽しいと感じる市民の割合	（ % ）	19.70%	（R6年度） →	60%	（R11年度）
公共空間でのイベント活用	（ 回/年 ）	3回	（R6年度） →	10回	（R11年度）
平日歩行者通行量	（ 人/日 ）	867	（R6年度） →	950	（R11年度）
休日歩行者通行量	（ 人/日 ）	663	（R6年度） →	730	（R11年度）



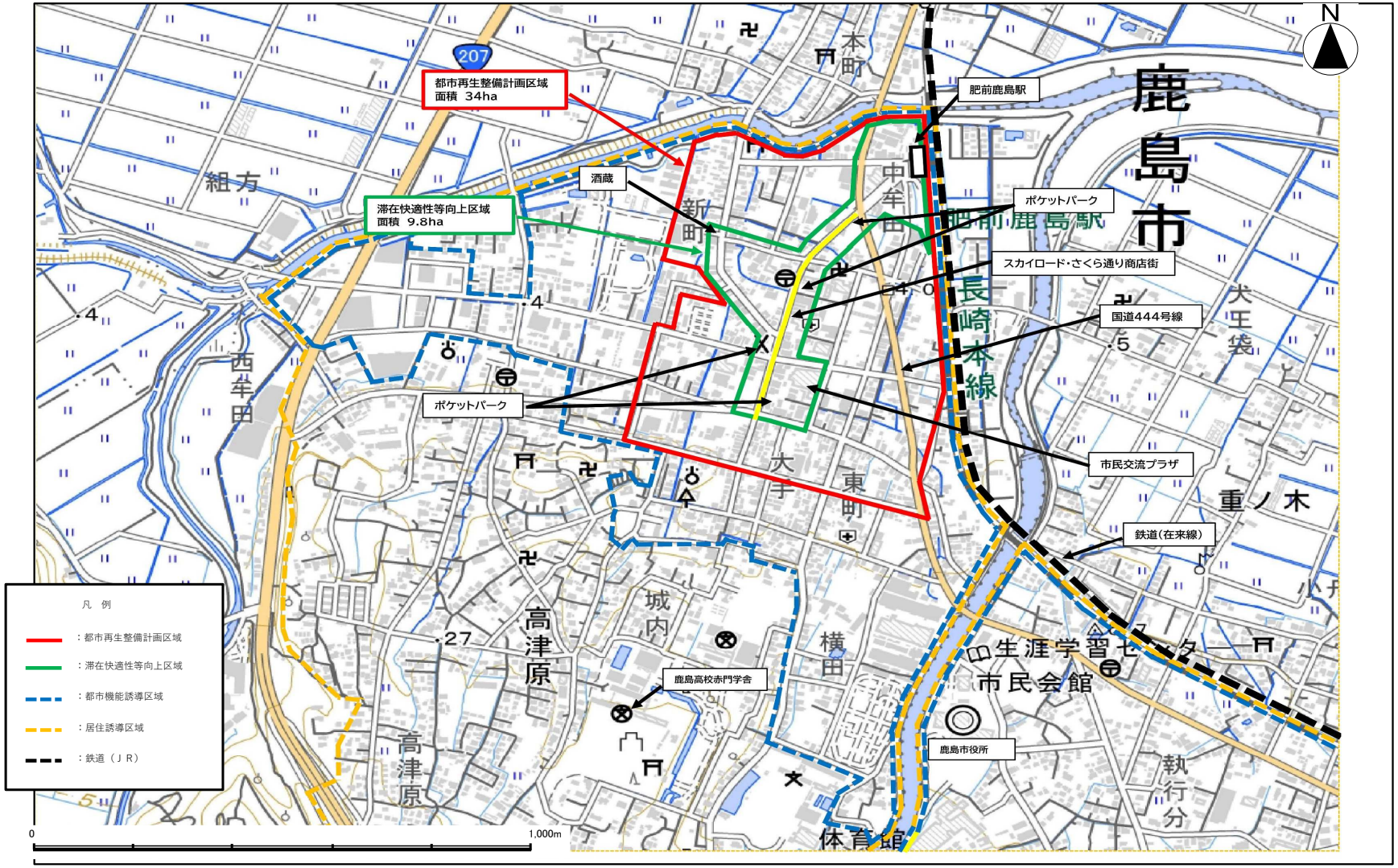
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

肥前鹿島駅周辺地区（佐賀県鹿島市）

活用する事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	□
都市再生整備計画事業（社会資本整備総合交付金）	
コンパクトシティ支援型	□
観光等地域資源活用支援型	□
地域生活拠点支援型	□
産業促進区域支援型	□
経過措置	□
都市再生整備計画事業（防災・安全交付金）	
防災拠点・コンパクトシティ支援型	□
防災拠点・郊外支援型1	□
防災拠点・郊外支援型2	□
経過措置	□
まちなかウォーカブル推進事業	
コンパクトシティ支援型	■
観光等地域資源活用支援型	□
地域生活拠点支援型	□

肥前鹿島駅周辺地区(佐賀県鹿島市) 現況図



交付限度額算定表（その1）

肥前鹿島駅周辺地区 （佐賀県鹿島市）　様式（2）-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計（X）	278.0 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額（Y）	875.0 百万円	X≦Yゆえ、	本計画における交付限度額	278.0 百万円

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au　39,200 ㎡

公共施設の上限整備水準

区域面積（㎡）			98,000.0
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
		その他の地域	0.40

Cl　27,000 円/㎡

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	3
公示価格の平均値（円/㎡）	27,000

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度（戸/㎡）	
標準補償費（円/戸）	44,000,000

Cf　23,000 円/㎡

控除額　0 百万円

都市再生整備計画関連事業とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名（事業名）	面積（㎡）	国庫補助事業費等（百万円）
合計	0	0

Ap　4200 ㎡

公共施設の現況整備水準

□ 整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定

推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積（㎡）	0

○ 個別公共施設の積み上げ

	面積（㎡）	割合
道路		-
公園		-
広場	3,200	0.03
緑地	1,000	0.01
公共施設合計	4,200	0.04

Cnを考慮しない場合の交付限度額（Y1）	875 百万円

ΣCn　0 円

□ 下水道　0 円

区域面積（㎡）	98,000
うち現況の供用済み区域面積（㎡）	
標準整備費（円/㎡）	3,600

□ 地域交流センター等の公益施設（建築物）　0 円

上限床面積（㎡）	9,400
標準整備費（円/㎡）	407,000

□ 調整池　0 円

調整池の容積（㎥）	
標準整備費（円/㎥）	140,000

□ 河川　0 円

河川整備延長（m）	
標準整備費（円/m）	3,700,000

□ 住宅施設　0 円

建設予定戸数（戸）		超高層	
		一般	
		合計	0
標準整備費（円/戸）		超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

□ 市街地再開発事業による施設建築物　0 円

施設建築物の延べ面積（㎡）	
標準共同施設整備費（円/㎡）	132,000

□ 電線共同溝等　0 円

電線共同溝等延長（m）	
標準整備費（円/m）	680,000

□ 人工地盤　0 円

人工地盤の延べ面積（㎡）	
標準整備費（円/㎡）	5,300,000

□ 協議して額を定める大規模構造物等　0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費（円）

Cnを考慮した場合の交付限度額（Y2）	875 百万円

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額（活用する交付金の欄のみご記載ください。）

＜都市構造再編集中支援事業＞

交付限度額(X1)		百万円

＜都市再生整備計画事業（社会資本整備総合交付金）＞

交付限度額(X2)		百万円

＜都市再生整備計画事業（防災・安全交付金）＞

交付限度額(X3)		百万円

＜まちなかウォーカブル推進事業＞

交付限度額(X4)	278.0	百万円

交付限度額算定表（その2）（まちなかウォーカブル推進事業）

肥前鹿島駅周辺地区 （佐賀県鹿島市）

様式（2）-④-4

社会資本整備総合交付金交付要綱に掲げる式による限度額算定（詳細）

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。（百万円単位）

単位：百万円

○交付対象事業費（*必ず入力*）

（百万円）

交付対象事業費	基幹事業合計（A）	546.000	A	（事業費）	⇒	1）式で求まる額（5/10*(A+B)）	278.000	①（国費）
	提案事業合計（B）	10.000	B	（事業費）		2）式で求まる額（5/8*A）	341.250	②（国費）
	合計(A+B)	556.000		（事業費）		上記①、②の小さい方	278.000	③（国費）
	提案事業割合(B/(A+B))	0.018				国費率（③÷(A+B)）	0.500	④（国費率）

（百万円）

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	556.0	（事業費）		社会資本整備総合交付金交付要綱に掲げる式による交付限度額（⑯を1万円の位を切り捨て）	278.0	⑰（国費）
				国費率	0.500	⑱（国費率）

年次計画（まちなかウォーカブル推進事業）

様式（2）-⑤-4

（事業費：百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象事業費	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
道路	道路	（都）鹿島駅城内線	鹿島市	107		9	98		
公園									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	広場	肥前鹿島駅前広場整備事業	鹿島市	400	5	39	69	30	257
高質空間形成施設	緑化施設等	ポケットパーク整備事業	鹿島市	39		4	12	12	11
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
街なみ環境整備事業									
エリア価値向上整備事業									
こどもまんなかまちづくり事業									
滞在環境整備事業									
計画策定支援事業									
計				546	5	52	179	42	268

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象事業費	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
地域創造支援事業									
事業活用調査	事業効果分析事業	駅周辺地区、中心市街地地区	鹿島市	5					5
まちづくり活動推進事業	利活用検討、駅前空間賑わい創出事業	駅周辺地区、中心市街地地区	鹿島市	5	2	2	1		
計				10	2	2	1	0	5
合計				556	7	54	180	42	273
累計進捗率 （%）					1.3%	11.0%	43.3%	50.9%	100.0%

（参考）関連事業

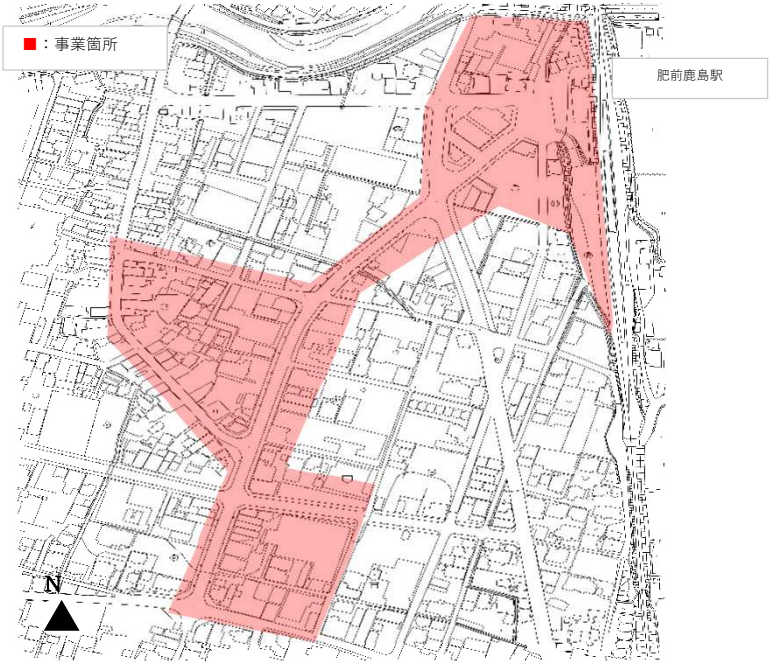
事業	事業箇所名	事業主体	全体事業費	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
鹿島駅組知線ほか1路線整備事業（街路）	都市計画道路 鹿島駅組知線ほか1路線	佐賀県	900	156	200	250	230	64
ポケットパーク整備（まちなかウォーカブル推進事業）	ポケットパーク	佐賀県	10	10			10	
鹿島駅組知線・鹿島駅城内線電線類地下埋設整備事業（まちなかウォーカブル推進事業）	（都）鹿島駅組知線、（都）鹿島駅城内線	佐賀県	160	10	40	40	40	30
鹿島駅組知線・鹿島駅城内線・井手西葉線高質化整備事業（まちなかウォーカブル推進事業）	（都）鹿島駅組知線、（都）鹿島駅城内線 （都）井手西葉線	佐賀県	175			55	80	40
事業効果分析事業（まちなかウォーカブル推進事業）	駅周辺地区	佐賀県	5					5
肥前鹿島駅整備、復原駅舎整備（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））	駅周辺地区	佐賀県、鹿島市	2353	90	984	929	350	
サテライトオフィス整備（デジタル田園都市国家構想交付金）	中心市街地地区	民間	67.5	※令和6年度で事業完了				
肥前鹿島駅駐輪場整備（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））	鹿島駅前駐輪場	鹿島市	99	8		5	86	
肥前鹿島駅駐車場整備（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））	市営駐車場	鹿島市	79	33	5	41		
エリアリノベーション補助（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））	中心市街地地区	民間	15	5	5	5		
暮らし観光まちあるきイベント	中心市街地地区	佐賀県	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
リノベーションまちづくり等推進事業	中心市街地地区	佐賀県	45	5	10	10	10	10
合計			3909	317.1	1244.1	1335.1	806.1	149.1
累計進捗率（%）				8.1%	39.9%	74.1%	94.7%	98.5%

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

（単位：百万円）

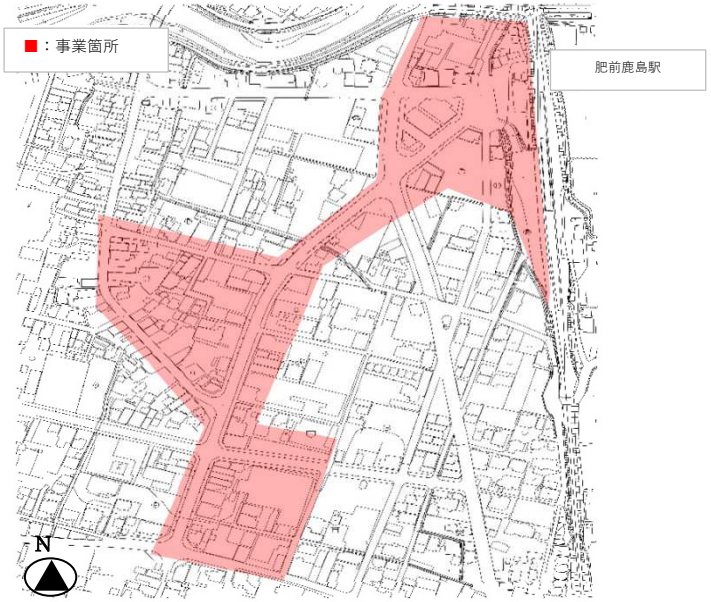
事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費					事業費の主な使途概要	その他
				開始年度	完了年度		うち調査費	うち用地費・補償費	うち整備費	うち購入費		
事業活用調査 事業効果分析事業	都市再生整備計画に基づく、事業実施の効果を整理し、各事業の成果を客観的に調査・検証し、今後のまちづくりの在り方検討の参考とする。	鹿島市	一式	R11	R11	5	5				事業効果調査、事後評価シート作成委託費	
まちづくり活動推進事業（啓発・研修活動、専門家の派遣、社会実験） 利活用検討、駅前空間賑わい創出事業	広場整備前に社会実験を行うことで、市民の関心向上と整備後の利用をスムーズに行えるようになる。また、滞留空間、日陰範囲の検討、必要設備等を把握することで、利活用要求に沿った整備につなげる。	鹿島市	一式	R7	R9	5	5				利活用検討会議等の委託費 社会実験に要する費用	

提案事業（事業活用調査：事業効果分析事業）



個別事業名	事業効果分析調査
事業主体	鹿島市
整備目的	都市再生整備計画に基づく、事業実施の効果を整理し、各事業の成果を客観的に調査・検証し、今後のまちづくりの在り方検討の参考とする。
事業期間	令和11年度
事業内容	歩行者通行量調査
事業費	5百万円

提案事業（まちづくり活動推進事業：利活用検討、駅前空間賑わい創出事業）



個別事業名　利活用検討、駅前空間賑わい創出事業

事業主体　鹿島市

整備目的　駅前と中心市街地との賑わいを創出するために、利活用検討を行い、社会実験等を行うことを目的とする。

事業期間　令和7年度～令和9年度

事業内容　利活用検討
社会実験
Ｒ７年度　野外シアター（広場予定地にて）
Ｒ８年度　ステージ＆キッチンカーイベント。道路の一部や歩道をテラス化し飲食物販売店舗拡張（スカイロード・さくら通り商店街）
Ｒ９年度　キックボード等によるまち回遊実験（スタンプラリー形式等）
※具体的には、現在進行中のヒアリング結果により決定予定。

事業費　5百万円
※利活用検討、社会実験　2百万円（R7年度）
※社会実験　2百万円（R8年度）
※社会実験　1百万円（R9年度）

事業効果　広場整備前に社会実験を行うことで、市民の関心向上と整備後の利用をスムーズに行えるようになる。また、滞留空間、日陰範囲の検討、必要設備等を把握することで利活用要求に沿った整備つなげる。

利活用検討イメージ（佐賀県鹿島市 ワークショップより引用）

社会実験イメージ（駅前広場予定地）
（佐賀県鹿島市　肥前鹿島駅前より引用）

社会実験イメージ（スカイロード・さくら通り商店街）
（佐賀県鹿島市　スカイロード・さくら通り商店街より引用）

社会実験イメージ（ポケットパーク）
（佐賀県鹿島市　ポケットパーク【空の広場】より引用）

道路

単位：百万円

都市計画道路名又はその他道路名	区間	道路区分 注1)	事業主体	事業手法 注2)	工種	延長 m	幅員 整備前 m	幅員 整備後 m	整備後車線数 車線	歩道幅員 m	交付期間内事業費	交付期間内事業費内訳 設計費	交付期間内事業費内訳 用地費・補償費	交付期間内事業費内訳 施設整備費	交付期間内事業期間 （年度）	事業内容 注3)	都市計画決定 年月	備　考 注4)
＜道路＞				－														
(都)鹿島駅城内線	～	市	鹿島市	－	改良	70	16	16	1	3	107	8	1	98	R8.9年度	築造、舗装、歩道特殊舗装費、植栽	令和6年12月	
	～			－														
	～			－														
	～			－														
	～			－														

（参考）

＜関連事業＞																		

＊本調書にはｱ)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、ｲ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1）＜道路＞については、街、地、国、他の別を記載。
＜関連事業＞については、国、主、一、市の別を記載。
ただし、街：街路、地：地方道（市町村道）、国：国道、主：主要地方道、一：一般都道府県道、市：市町村道、他：いずれにも該当しないもの

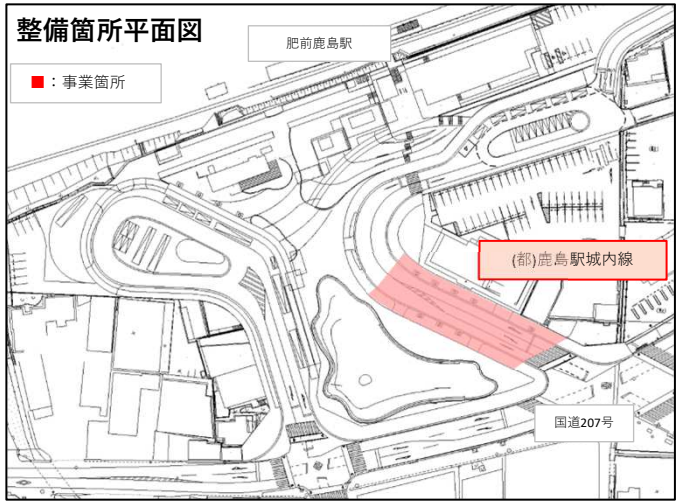
注2）＜関連事業＞について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3）施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4）備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量（人／日）、混雑度等を記載
（例）・道路改築：交通量（人／日）、混雑度等
・自転車駐車場：都市計画決定の有無、面積、利用台数等

＊不足する場合は適宜行を追加すること

基幹事業（道路）



個別事業名　（都）鹿島駅城内線

事業主体　鹿島市

整備目的　駅周辺地区からまちなかへの回遊性を向上させるために「居心地がよく歩きたくなる」空間となるよう、車両通行（乗り入れ）を抑制し広場と一体となった歩行者占用空間を設け、イベント等で賑わい創出を図る。

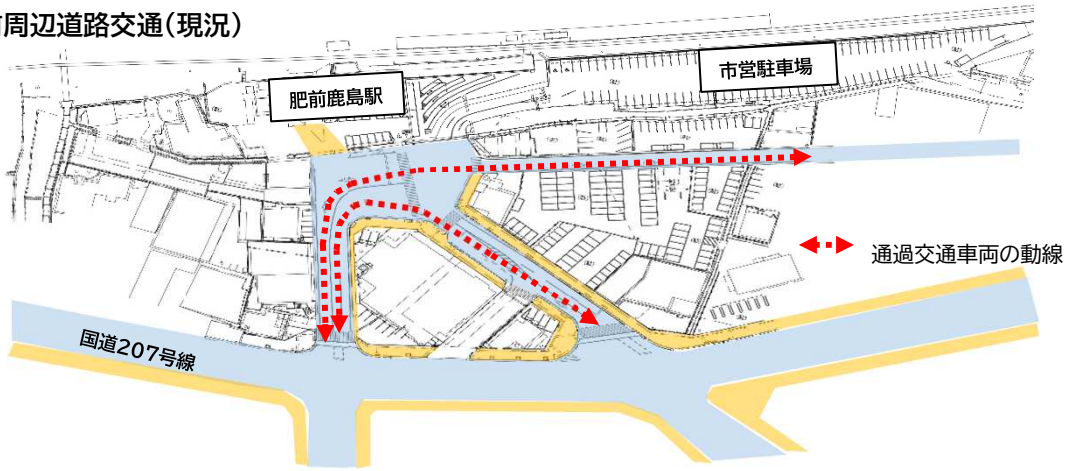
事業期間　令和8年度～令和9年度

事業内容　築造、舗装、歩道特殊舗装、植栽

事業費　107百万円
※用地買収費　1百万円（R8年度）
※設計委託費　8百万円（R8年度）
※整備費　98百万円（R9年度）

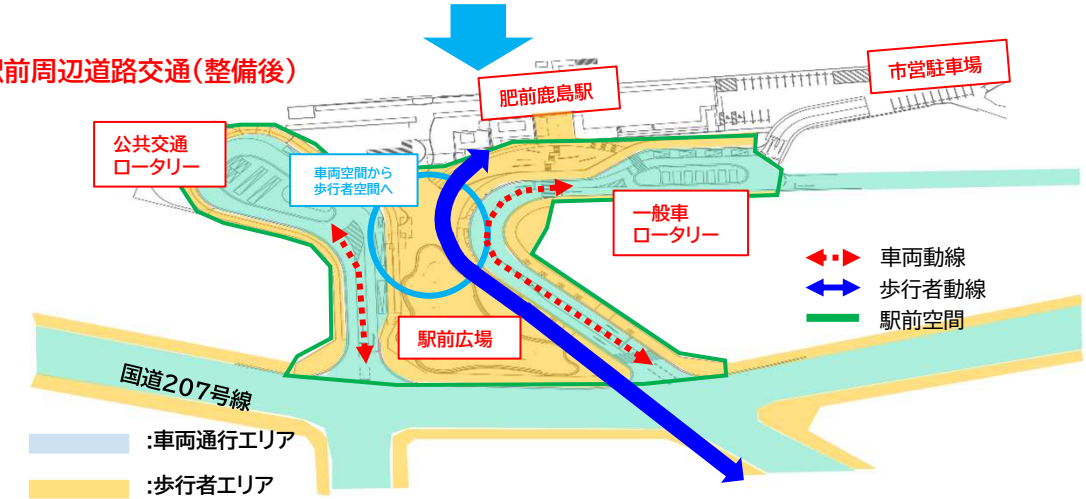
整備効果
利活用方針
・歩道空間については、市民が多様で多彩な活動（マルシェ・キッチンカー）ができるよう、広場一体となった空間を提供できる。
・道路空間については、広場での大型イベント時（※）は車道も含めて歩行者専用空間とし、車道にキッチンカー等を配置するなど、自由な利用ができるように整備を行い、広場～車道が一体となった歩行者空間を提供できる。
※イベント例：花火大会の観覧場、バルーン係留イベント、集客力の高いアーティストによる音楽イベント、音と光のイベント

駅前周辺道路交通（現況）



（現況の交通状況）
●通過交通車両が駅前に入り込んでいる
●国道の赤信号を避けるために駅前広場を抜けていた。
●市の玄関口として、賑わいづくりが難しい環境となっている。

駅前周辺道路交通（整備後）

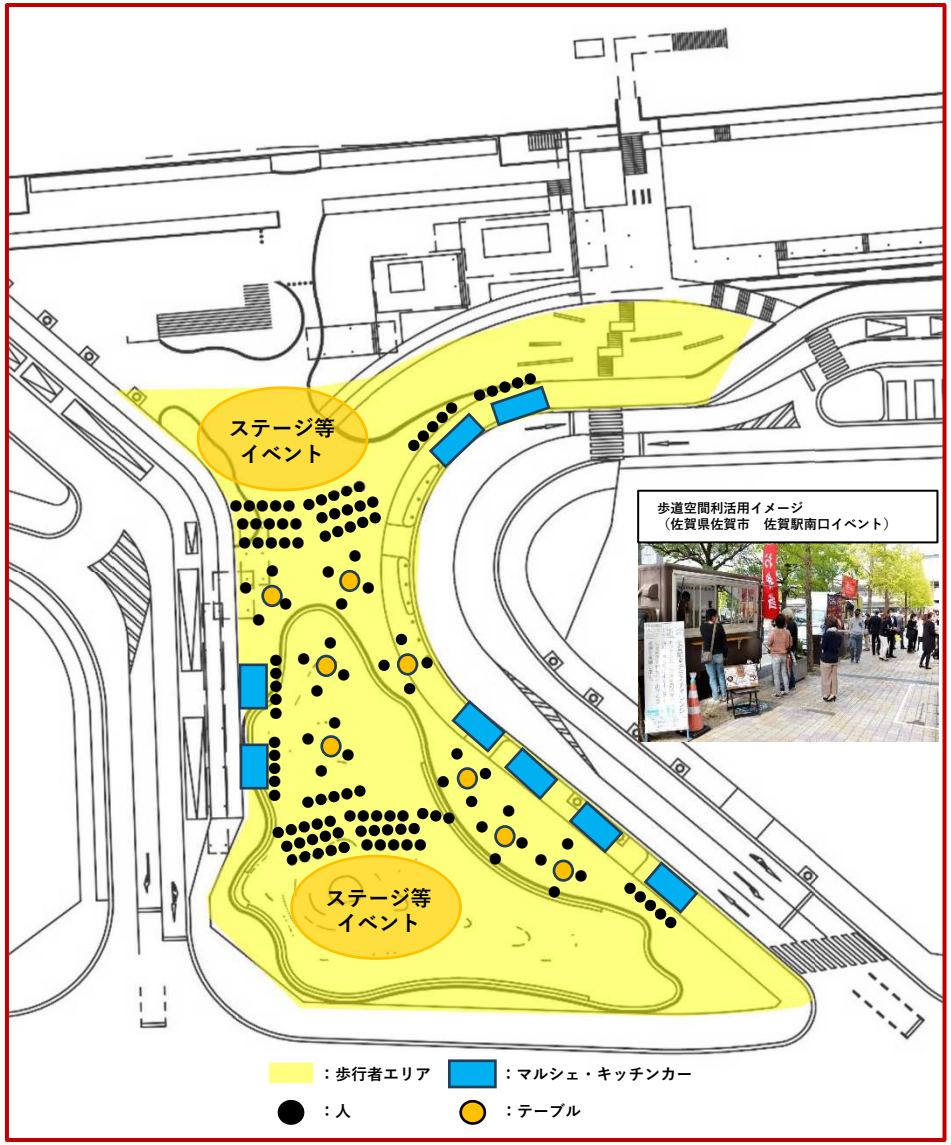


●まちなかウォーカブル区域の中にあってウォーカブルの起点となる駅前空間おいて、道路形状を変更し、車両通行（乗り入れ）を抑制すると共に、歩行専用空間を設け、イベント等で賑わいを創出することで「居心地が良く歩きたくなる」まちなかを創出する。

自動車乗り入れを排除し歩行者中心の駅前広場

基幹事業（道路）

道路整備後利活用イメージ



歩道空間の利活用イメージ
（ステージイベント時のマルシェ・キッチンカーを歩道部に出店）

車道空間、歩道空間の利活用イメージ
（花火大会時に歩道部や車道部にマルシェ・キッチンカーの出店、ベンチ等を設置し観覧場として活用）

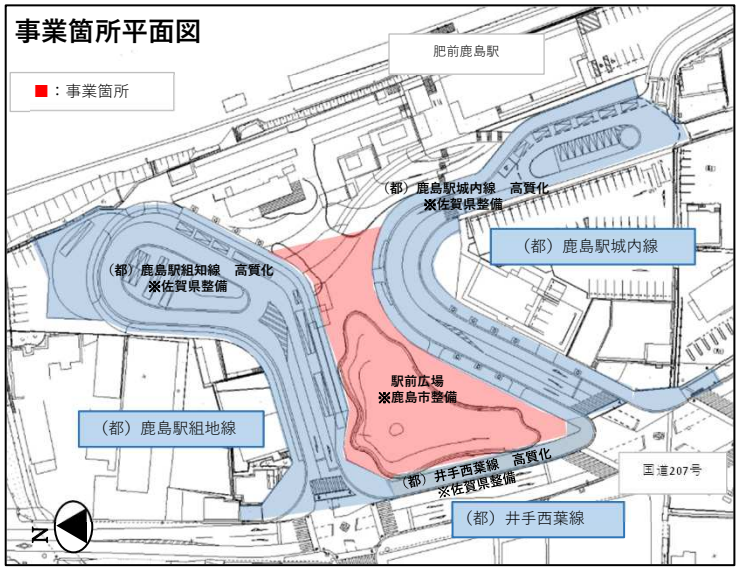
地域生活基盤施設

単位：百万円

交付対象施設	施設名（路線名等）	事業主体	規模（面積、幅員、延長等）	概要（整備内容等）	交付期間内事業費	交付期間内事業費内訳				備考
						設計費	用地費・補償費	施設整備費	うち購入費	
緑地									―	
広場	肥前鹿島駅前広場整備事業	鹿島市	面積：3200㎡	広場緑化整備	400	43	100	257	―	
駐車場										
自転車駐車場										
荷物共同集配施設										
公開空地									―	
情報板									―	
地域防災施設	施設種別：									
人工地盤等										
分散型エネルギーシステム									―	
公共公益施設と一体的に整備する再生可能エネルギー施設等										
合計	―	―	―							

・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。（間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。）
・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式（立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等）、面積及び駐車台数を記入。
・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
・駐車場には、共同駐車場、荷捌き駐車場、駐車場出入口付替等を含む。
・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

基幹事業（地域生活基盤施設：広場）



個別事業名　駅前広場整備

事業主体　鹿島市

整備目的　中心市街地との連携強化のため、歩行者動線を意識し、親子や高齢者等の多様な人々の居場所となることや、キッチンカーやマルシェイベント開催等にも対応する広場空間の整備を目的とする。

事業期間　令和7年度～令和11年度

事業内容　広場空間において、植栽、照明灯等を整備する
広場空間に滞留空間（休憩所、ベンチなど）を整備する

事業費　400百万円
※用地買収費　100百万円（R8年度、R9年度）
※設計委託費　43百万円（R7年度、R9年度、R10年度）
※整備費　257百万円（R11年度）

整備効果　交通空間の中央に駅前広場を設け、歩行者中心の結節、交流空間となることで、まちの玄関口となる駅前広場を目指す。イベント（市民活躍）の場、休憩場として整備することで、駅前から中心市街地（スカイロード・さくら通り商店街）のつながりが強化され、回遊性や滞在性を高めることができる。

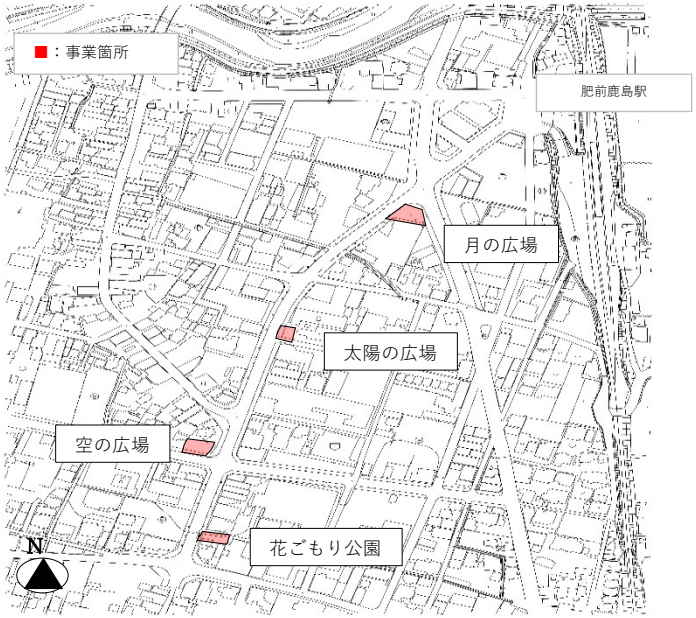
高質空間形成施設

単位：百万円

交付対象施設	施設名 （路線名等）	事業主体	規模 （箇所数、延長等）	概要 （整備内容等）	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
						設計費	用地費・ 補償費	施設整備費	
緑化施設等（植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント、給電・給排水施設、土塁、堀跡等）	ポケットパーク整備	鹿島市	空の広場：401㎡ 太陽の広場：222㎡ 月の広場：184㎡ 花ごもり公園：224㎡ 合計：1031㎡	敷地内再整備（給排水施設設置）	39	4		35	
電線類地下埋設施設									
電柱電線類移設									
地域冷暖房施設							－	－	
歩行支援施設、障害者誘導施設等									
公共公益施設と一体的に整備する情報化基盤施設									
合計	－	－	－						

・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。（間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。）
・「電線類地下埋設施設」は、備考欄に地中化の方式（自治体管路等）を記入。
・「緑化施設等」及び「電線類地下埋設」について、道路区域内で整備する場合は、備考欄に道路の都市計画決定の有無、道路の改築を伴うか否かを記入。
・「緑化施設等」について、施設名欄、概要欄に整備内容を具体的に記入。
・「電柱電線類移設」を実施する場合には、歴史的風致維持向上計画の当該事業が記載されている箇所及び都市再生整備計画の区域と歴史的風致維持向上計画の重点区域が重複する部分が、いずれかの区域の概ね3分の2以上であることがわかる図面を添付してください。
・「緑化施設等」の土塁・堀跡について、次の3点がわかる内容の記入や資料の添付してください。
①文化財保護法第109条第1項の規定に基づく指定を受けた史跡でないこと。
②歴史まちづくり法第5条第8項の規定に基づく認定を受けた歴史的風致維持向上計画に位置付けられていること
③都市再生整備計画の区域と歴史的風致維持向上計画の重点区域の区域が重複する部分が、いずれかの区域の概ね2/3以上であること

基幹事業（高質空間形成：緑化施設等）



現況写真：月の広場

現況写真：太陽の広場

現況写真：空の広場

現況写真：花ごもり公園

個別事業名　ポケットパーク整備事業

事業主体　鹿島市

整備目的　既存ポケットパークがスカイロード・さくら通り商店街の通りに各々150m程度以内の距離に位置している。少し歩くと現れる連続性を活かし、駅前から中心市街地に交流や賑わいづくりを行うことを目的とする。

事業期間　令和8年度～令和11年度

事業内容　植栽、休憩所、照明、ベンチの整備等

事業費　39百万円
※設計委託費　4百万円（R8年度）
※整備費　35百万円（R9～R11年度）

整備効果　休憩所整備に加え、イベントを行いやすいインフラ整備をすることで、人が集まり、来訪者や市民が交流できる滞留空間を作ることができる。また、駅前とのイベント連携を行うことで、鹿島駅から中心市街地の人々の回遊性を高めることができる。

まちなかウォーカブル推進事業（補助金）事前評価シート

本シートを活用し市町村と連携を図りながら事業の事前評価を実施してください。

地区の名称：肥前鹿島駅周辺地区　　事業主体名：鹿島市

	チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1）まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2）上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2）まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
Ⅱ．計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5）地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1）十分な事業効果が確認されている。	○
2）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
Ⅲ．計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1）まちづくりに向けた機運がある。	○
2）住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3）継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2）交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
3）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

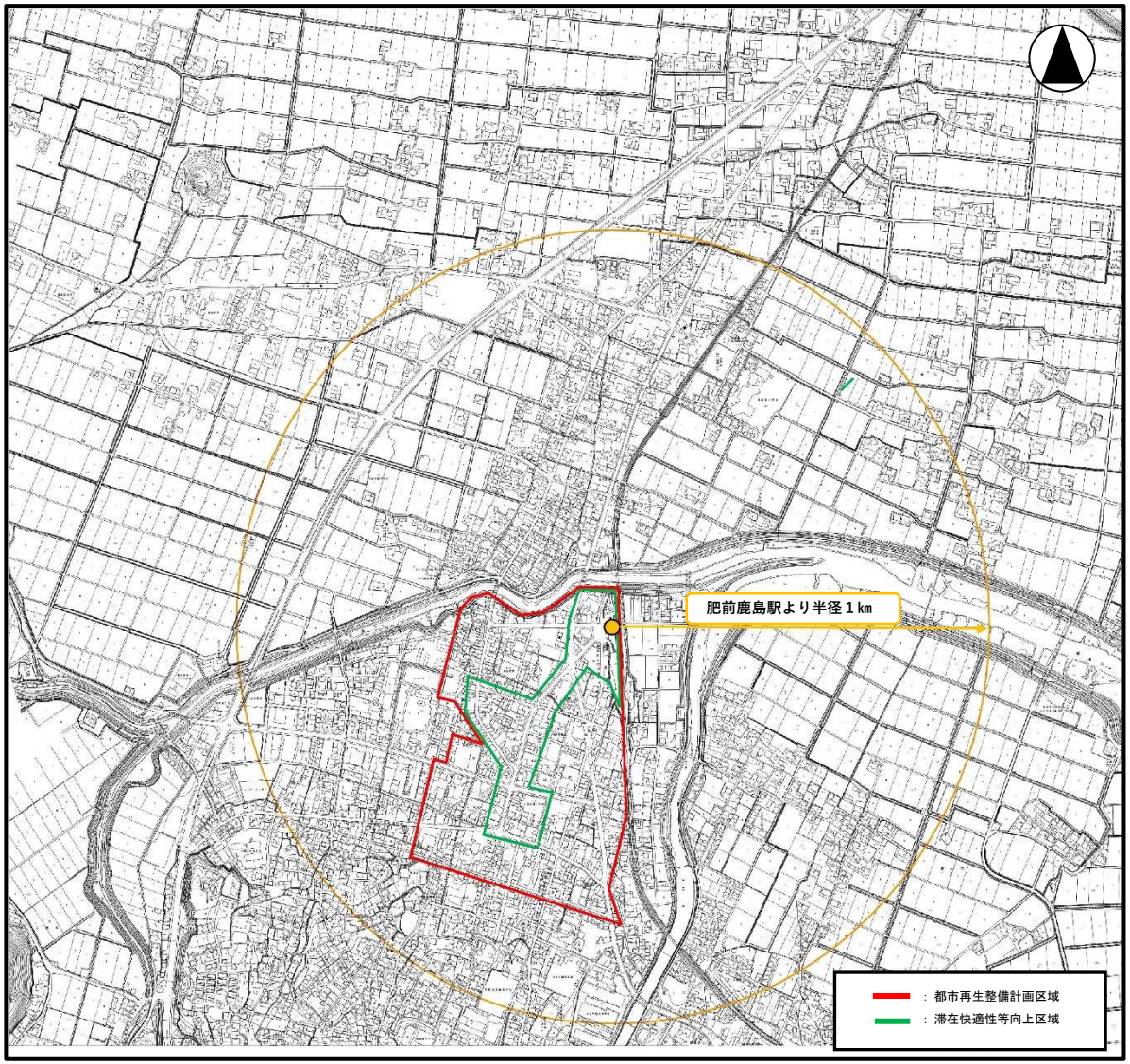
施行地区要件確認シート

活用する事業	まちなかウォーカブル推進事業	支援型	コンパクトシティ支援型

まちなかウォーカブル推進事業を活用する場合		
確認事項	チェック	記載事項等
①コンパクトシティ支援型		
1）以下のいずれかの市町村に該当するか。*（①or②の該当する項目に「○」）*		
① 立地適正化計画策定に向けた具体的な取組を開始・公表しており、 原則として5年経過するまでに、計画を作成することが確実か。	○	公表時期：令和2年4月
② 立地適正化計画によらない持続可能な都市づくりを進めている市町村か。 i) 市街化区域内の人口密度が40人/ha以上あり、当該人口密度が統計 上今後も概ね維持される。 ii) 都市計画区域に対する市街化区域の割合が20%以下		
2）以下のいずれかの区域に定められているものであるか。*（①～③の該当する項目に「○」）*		
①市街化区域又は区域区分が定められていない都市計画区域において設定される用途地域内のうち以下のいずれかに該当する区域であるか。 ・鉄道・地下鉄駅※から半径1kmの範囲内 ・バス・軌道の停留所・停車場※から半径500mの範囲内 ※ ピーク時運行本数が片道で1時間当たり3本以上あるものに限る。	○	肥前鹿島駅から半径1kmの範囲内 （6時、9時、14時台　上り方面 3本）
②直前の国勢調査の結果に基づく人口集中地区（今後、直近の国勢調査の結果に基づく人口集中地区に含まれると見込まれる区域を含む）であり、デマンド交通等の公共交通による利便性確保を図る区域であるか。 ・拠点となる施設から半径500mの範囲内		
③市町村の都市計画に関する基本的な方針等の計画において、都市機能や 居住を誘導する方針を定めている区域。		
②観光等地域資源活用支援型		
1）以下のいずれかに関する計画があるか。*（①～④の該当する項目に「○」）*		
①歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画		○○に基づく○○観光圏整備計画
②観光圏整備法に基づく観光圏整備実施計画		
③文化観光推進法に基づく文化観光拠点施設を中核とした地域における 文化観光の総合的かつ一体的な推進に関する計画		
④その他（　　）		
2）都市再生整備計画において当該市町村における都市のコンパクト化の方針 が記載されており、当該区域の整備が都市のコンパクト化と齟齬がないと認められる区域であるか。（市街化区域等を除く）		
③－1地域生活拠点支援型		
1）都市機能誘導区域を定めた立地適正化計画もしくは立地適正化計画と整合した市町村管理構想・地域管理構想に都市計画区域外の地域生活拠点の位置付けがあるか。		
2）地域生活拠点は都市機能誘導区域から公共交通により概ね30分で到達できる区域か。		
③－2地域生活拠点支援型		
1）都市機能誘導区域を含む立地適正化計画を有する市町村（基幹市町村）の都市機能誘導区域から公共交通により概ね30分で到達できる地区か。		
2）以下のいずれかの地区に該当するか。*（①or②の該当する項目に「○」）*		
①基幹市町村と共同して広域的な立地適正化の方針を作成し、当該方針において 拠点として位置付けられた地区		
②基幹市町村と共同して作成する広域的な立地適正化の方針と整合した市町村 管理構想・地域管理構想において拠点として位置付けられた地区		

施工地区要件確認シート　資料

肥前鹿島駅から半径１㎞の範囲図



肥前鹿島駅運行本数　上り（鳥栖方面）

ひぜんかしま
肥前鹿島

駅情報　時刻表　出口案内

ＪＲ長崎本線

	肥前浜・諫早方面	鳥栖・江北方面	
時		平日	土曜　日曜・祝日
6	門 7	[特]博 38●	江 42
7	[特]吉 13●	江 44	
8	江 11		
9	9	[特]博 32●	江 39
10	17	40●	
11	江 2	[特]博 54●	
12	22		
13	9●		
14	7	32●	[特]博 50●
15	19●		
16	23		
17	江 25		
18	[特]博 31●	46	
19	[特]博 34●	46	
20	49		
21	江 41		
23	江 45		

列車種別・列車名	無印：普通　特：特急
行き先・経由	無印：肥前　江：江北(佐賀県)　博：博多　門：門司港　吉：吉塚
変更・注意マーク	●：当駅始発

：通行本数が片道で1時間当たり3本以上あるもの